



エンジニアの採用から始まった外国人採用。最初はコミュニケーションをとるのが難しいと感じていたようです。現場を担当する日本人スタッフも難しいと感じていたようです。しかし現在ではコミュニケーションが取れるようになってきたこともあり定着につながってきているようです。

伝えたい気持ち



理解しようとする気持ち

企業内で生まれた関係

外国人の方の「伝えたい気持ち」と日本人スタッフの「理解しようとする気持ち」が企業内の雰囲気を変えてくれたようです。終業後にはお互いをほめあって終了するという取り組みを実施されています。時には内容がわからなくてもみんなで理解しようとすることで、笑顔で終わるようにされています。素朴な努力が伝わってくる。こういった取り組みが絆を深めていくのでしょうか。



畑社長は採用時にスポーツをやっているかを聞かれるそうです。ストレス解消になるようにと参加できるチームを探してあげられることもされています。男性二人はサッカーが好きなのですが、まだチームには参加できていませんが、ベトナム人女性としては背が高くバレーボールが趣味ということでママさんバレーに参加し、ママさんたちに可愛がってもらっているようです。こういった社長の気遣い、素敵ですね。

畑社長は他にも従業員の
 方の家庭訪問を実施されて
 います。どんな会社で
 働くのか、社長がどのよ
 うな人なのか？



自分の子供に置き換えると心配で仕方がないとおっしゃる畑社長。だからこそ親御さんに安心してほしいということで家庭訪問を実施されています。ご家族も安心されたことでしょうね。

畑ダイカスト工業様は本当に人を思う気持ちを持たれていて素敵な企業様でした。彼らが来てくれたことで社内が明るくなったとか。畑社長の想いが熱くたくさん学びを頂きました。

畑ダイカスト工業

株式会社様



2020年9月28日訪問

企業訪問レポート